

令和7年3月1日号

まちなみ通信 No.70

～ 2月のできごとについて ～



伝建制度50周年記念事業
「伝建スタンプラリー」

廿日市市宮島町のスタンプ

－ 防災講演会 －

2月4日に etto 宮島交流館で『防災講演会』を開催しました。講師は工学院大学総合研究所の後藤治教授で、令和5年度に「廿日市市宮島町伝統的建造物群保存地区防災計画」の策定に携わっていただきました。

講演会の内容は、「市民ができる歴史的町並みの防災対策」と題し、近年多くなっている地震や火事などの様々な災害に対するハード面やソフト面での防災対策について講演いただきました。



防災講演会の様子

①建物の耐震について

伝統構法で建てられた町家は地震に対して意外と強く、特に宮島のように隣家との間隔が狭い場合、振動を軽減し合う効果があります。そのため日頃から維持管理を適切に行うこと（土壁の修繕や白蟻駆除など）が大切です。宮島のように間口が狭く奥に長い町家の形に有効な補強方法等を他市町村などの事例も紹介していただきました。現在、廿日市市でも広島工業大学や広島大学の力を借りながら、宮島町家に有効な耐震方法を検討しています。まとめましたら、所有者の方や設計者、施工者に情報提供することを考えています。

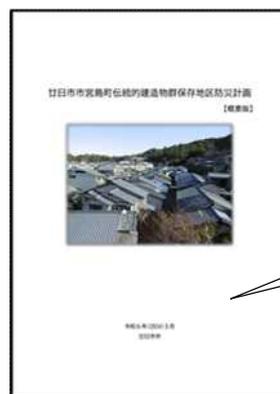
②火災について

宮島のような木造密集地では、特に火災が起こりやすいのが敷地の後方で、道路側から火災を見つけにくく、消火が困難になることが指摘

されています。火災が起こっていることに気づくのが遅れると隣家にも延焼する恐れが強く、できる限り早く火災に気づき、周りに早く知らせ、消防が到着する前の初期消火をすることが大切であると話されていました。ある町では消防が到着するのに20分以上かかってしまうため、誰でも容易に扱える消防設備を設置し、発見者がすぐに初期消火活動ができるよう普段から訓練をしているそうです。講演後の質疑では、観光客の多い宮島では、観光客のマナーが悪く、たばこのポイ捨てなどが不安だと意見がありました。また山火事などが起こった際の狭い土地での消火活動のルート確保についても心配の声がありましたが、地域消防活動をしている方たちは、常日頃から狭い場所などを掌握しているそうで、後藤教授も宮島の優秀な点だと言われていました。

防災に関係する人だけでなく、島民の方たち全員が防災設備の配置場所など防災に関わる情報について把握し、日頃からの点検が重要であると再認識した講演会でした。

－ 防災計画（概要版） －



配布した概要版を
ご一読ください！

～ 伝統的建造物の紹介 No.5 《宮郷家（菊地家）》～

北之町東表に建つ町家で、切妻屋根平入2階建の棧瓦葺きの主屋は間口2間半、奥行7間半で、通り庭に沿って、ミセ・オウエ・ザシキの3室を並べる宮島特有の町家形式をとる建物である。主屋の1階部分は、改造が多いが、2階の和室の保存状態は良い。1階の外観は、元々格子がついていたと言われているが、現在は無い。2階の外観は、屋根の持ち送りによる出庇が特徴であり、また当時は格子であったであろう痕跡が現在でも伺える。1階のオウエ部分は吹き抜けであり、当初の状態をそのまま残している。オウエの梁組を確認すると、かみ合わせが非常に浅く、19世紀前期頃の建物である可能性が高い。建築当初の痕跡として和釘も確認されており、江戸時代の姿をよくとどめた貴重な伝統的建造物である。（廿日市市厳島伝統的建造物群保存対策調査報告書/H19より 一部編集）



宮郷家（菊地家）外観



格子の痕跡

中には通り庭も残っていて、居住者の方は、『調理を行うのに土間は意外と便利だよ！』と言っていたよ



オウエ小屋組

伝建制度創設 50 周年記念事業 「伝建デジタル de スタンプラリー」の開催について

伝建地区制度創設 50 周年を記念して、デジタルスタンプラリーが全国の伝建地区 129 か所で開催中です。各地の伝建地区に多くの人に来訪してもらい、周遊促進などを目的としています。

「廿日市市宮島町伝建地区」もスタンプラリー事業の舞台の1つとなっており、宮島歴史民俗資料館を中心に半径 500m の範囲でスタンプが獲得できます。全国の伝建地区で 5 個以上スタンプを集めると B 賞、10 個以上で A 賞に応募できます。ぜひ以下の QR コードから参加登録していただき、全国の伝建地区を巡りデジタルスタンプを集めてみてください！



[参加登録用URL](#)

宮島で所有されている建物について、お困りごとはありませんか？

宮島に建物をお持ちの方で、何かお困りごとがあれば、ぜひご相談ください。

皆さんのお役に立てるよう、問題解決に向けて一緒に考えます。 ※もちろん秘密厳守です。

まちなみ通信 No. 70 (令和 7 年 3 月 1 日) 発行

廿日市市 経営企画部 宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 TEL(0829)30-9119 FAX(0829)32-1059